

◆ 学会報告

1) 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究 (1) 調査概要について. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

2) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究 (2) ミヤマクロバエの高所移動について. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

3) 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二, 上村 清, 荒川 良: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究 (3) ミヤマクロバエの生活史. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

4) 河合潜二, 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護, 倉橋 弘: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究 (4) ケバクロバエの生活史. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

5) 倉橋 弘, 河合潜二, 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究 (5) オオクロバエの生活史. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

6) 倉橋 弘, 和田義人, 主藤千枝子, 河合潜二, 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護: ケバクロバエの季節的垂直移動と雌成虫の生理的特性. 第30回日本応用動物昆虫学会大会・第46回日本昆虫学会大会共催大会, 1986, 6, 札幌.

7) 山田成明, 鍛冶兆宏, 石田俊郎, 上村 清, 森田嘉樹: ヤマトマダニ刺咬症の1例. 第14回富山眼科集談会, 1986, 6, 富山.

8) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の山麓部における生活. 第41回日本衛生動物学会, 第42回日本寄生虫学会西日本支部合同大会, 1986, 10, 西宮.

9) 川本文彦, 藤岡 寿, S. A. Reka, 熊田信夫, 井関基弘, 上村 清: 蛍光色素による簡易染色診断法(続報). 第41回日本衛生動物学会, 第42回日本寄生虫学会西日本支部合同大会, 1986, 10, 西宮.

10) 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 丸山明夫, 岡田敏夫, 荒川 良, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究 (II) 抗体陽性患者の臨床的検討. 第36回日本アレルギー学会総会, 1986, 10, 岐阜.

11) 上村 清, 荒川 良: イエバエに対するS—31183の実地駆除試験. 第2回J S研究会, 1986, 12, 東京.

12) 上村 清, 荒川 良: アカイエカ, コガタイエカに対するS—31183の実地散布試験. 第2回J S研究会, 1986, 12, 東京.

◆ その他

1) 上村 清: オロロ調査の思い出. アブ研究会会報 9: 4—6, 1986.

2) 上村 清, 荒川 良: オオチョウバエの尿ハエ症とセンチクバエの口ハエ症の2例について. 衛生動物 37: 179, 1986.

3) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 立山におけるクロバエ類の生態学的研究 予報 クロバエ類はヒトより先に登山している? 衛生動物 37: 181, 1986.

4) 上村 清, 荒川 良, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の生態学的研究. 衛生動物 37: 294—295, 1986.

5) 渡辺正男, 佐々 学, 小西健一, 原口紘亮, 鏡森定信, 上村 清, 安田郁子, 渡辺 護, 新村哲夫: 環境指標生物中の微量元素の地域分布と相互関連. 「環境科学」研究広報 31: 158—160, 1985.

6) 上村 清: くらしのおじやま虫 23—58. 北日本新聞家庭欄, 1月18, 28, 2月4, 11, 18, 22, 3月4, 18, 4月1, 8, 17, 29, 5月6, 20, 6月3, 17, 24, 7月1, 8, 15, 22, 29, 8月12, 19, 9月2, 9, 23, 30, 10月7, 14, 21, 28, 11月4, 18, 12月2, 9, 16日号, 1986.

7) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫: 木造および鉄筋家屋の畳内ダニ相について. ダニ類研究会会報 12: 4, 1985.

細菌学・免疫学

教授	小西健一
助教授	山岸高由
助手	坂本憲市
助手	斎藤君枝
助手	鈴木康将
文部技官	井上裕美子

◆ 原著

1) Kawai, K. and Konishi, K.: Fundamental studies on chironomid allergy I. Culture methods of some Japanese chironomids (Chironomidae, Diptera). Jpn. J. Sanit. Zool. 37: 47—57, 1986.

2) 水上陽真, 渡辺弘之, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 佐々 学, 河合幸一郎: 成虫の直接気道吸入にて発

症したユスリカ喘息の1例. 日胸症会誌24: 287—291, 1986.

3) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学, 水上陽真, 渡辺弘之: ユスリカ喘息——大発作を起した1例——. 治療学16: 687—691, 1986.

4) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 足立雄一, 松野正知, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々学: ユスリカ喘息に関する研究, アレルギー35: 393—401, 1986.

5) 吉国桂子, 小西健一: セロクリット-T P (T P H A) の検討. 衛生検査35: 1347—1350, 1986.

6) Kawai, K. and Konishi, K.: Fundamental Studies on Chironomid Allergy II. Analyses of Larval Allergens of Some Japanese Chironomids (Chironomidae, Diptera). Jpn. J. Allergol. 35: 1088—1098, 1986.

7) 小西健一, 渡辺正男, 山岸高由, 上村 清, 坂本憲市, 齋藤君枝, 河合幸一郎, 田中 晋, 安田郁子, 渡辺 護, 井山洋子, 久保義博, 安野正之, 岩熊敏夫, 花里孝幸: 陸水生物の水質指標性と汚染除去能に関する研究. 日産科学振興財団事業報告書12: 226—236, 1986.

8) Konishi, K., Yamagishi, T., Sakamoto, K. and Morinaga, S.: Anti-tumor activity of *Eubacterium lentum*. Proc. CJICM. 2:111—112, 1986.

◆ 学会報告

1) 小西健一: 実験動物によるユスリカ・アレルギーの研究. 第4回ユスリカ・アレルギー研究会, 1985, 11, 筑波.

2) 山岸高由: 水の汚染指標としてのウェルシュ菌の意義. 昭和60年度環境科学人体影響領域(R20)研究発表会, 1986, 1, 京都.

3) 小西健一: ウィルス性疾患と臨床検査——抗原抗体反応の原理と応用——. 富山県医師会臨床検査センター技師講習会, 1986, 3, 高岡.

4) 森永信一, 坂本憲市, 山岸高由, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 第6報 *Eubacterium lentum* の抗腫瘍活性機序の検討(その2). 第59回日本細菌学会総会, 1986, 3, 名古屋.

5) 坂本憲市, 森永信一, 林 君枝, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 第7報 *Eubacterium lentum* の抗腫瘍スペクトラム(その2). 第59回日本細菌学会総会, 1986, 3, 名古屋.

6) 小西可南, 諸橋正昭, 山岸高由: *Propionibacterium acnes* に対する和漢薬の検討. 第85回日本皮膚科学会学術大会, 1986, 4, 京都.

7) Daimon, K., Kakuda, M., Matsuda, M., Yamagishi, T. and Konishi, K.: Susceptibility of isolated strains to antimicrobial agents during the last five years. 第35回日本臨床衛生検査学会総会, 1986, 5, 岐阜.

8) 河合幸一郎, 小西健一: ユスリカ・アレルギーに関する基礎的研究(その4) 幼虫および成虫アレルギーの解析. 第38回日本衛生動物学会大会, 1986, 6, 札幌.

9) Yamagishi, T. and Konishi, K.: Some characteristics of an unnamed vibrio isolated from cholecystitis. The 22nd joint conference, US-Japan Cooperative Medical Science Program, Cholera panel, 1986, 7, Toyama.

10) Konishi, K., Yamagishi, T., Sakamoto, K. and Morinaga, S.: Anti-tumor activity of *Eubacterium lentum*. The 2nd China-Japan International Congress of Microbiology, Shanghai Symposium-1986, 1986, 8, Shanghai.

11) 中村礼子, 吉国桂子, 森永健市, 小西健一: 高速液体クロマトグラフィーによる分画T P H A法. 第40回北陸医学会総会, 1986, 9, 金沢.

12) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 山口宣夫, 越村三郎: *Eubacterium lentum* の抗腫瘍スペクトラムについて. 第45回日本癌学会総会, 1986, 10, 札幌.

13) 森永信一, 坂本憲市, 小西健一, 越村三郎: *Eubacterium lentum* の抗腫瘍活性機序の検討. 第45回日本癌学会総会, 1986, 10, 札幌.

14) 河合幸一郎, 小西健一: ユスリカ・アレルギーに関する基礎的研究. 第5回ユスリカ・アレルギー研究会, 1986, 10, 岐阜.

15) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 原 正則, 鈴木好文, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究(IV) オオユスリカの主要抗原分画の検討. 第36回日本アレルギー学会総会, 1986, 10, 岐阜.

16) 河合幸一郎, 坂本憲市, 小西健一: ユスリカ・アレルギーに関する基礎的研究(その5) 幼虫及び成虫抗原の解析. 第36回日本アレルギー学会総会, 1986, 10, 岐阜.

17) 小西健一, 山岸高由: 水質汚染指標としてのウェルシュ菌について. 環境科学シンポジウム—1986, 1986, 11, 東京.

18) 坂本憲市, 森永信一, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 第8報 *Eubacterium lentum* の腫瘍転移に及ぼす効果について. 第23回日本細菌学会中部支部総会 (第1回中部・関西支部合同学会), 1986, 11, 下呂.

19) 斎藤君枝, 山岸高由, 小西健一, 柳ヶ瀬康夫: 一好塩ビブリオ「小竹株」の病原性その他の検討. 第23回日本細菌学会中部支部総会 (第1回中部・関西支部合同学会), 1986, 11, 下呂.

20) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の抗腫瘍活性について. 第1回富山腫瘍免疫研究会, 1986, 12, 富山.

◆ 総 説

1) 小西健一, 山岸高由: ウェルシュ菌——その生態と水質指標性——. 「環境科学」研究報告集 B283—R20, 人体影響研究 9: 115—127, 1986.

◆ その他

1) Konishi, K. and Yamagishi, T.: Significance of *Clostridium perfringens* as a pollution indicator of water. Researches Related to the UNESCO's Man and the Biosphere Program in Japan. 「環境科学特別研究」報告集, B275—S001: 105—106, 1986.

2) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウェルシュ菌の意義. 「環境科学」研究報告集, B283—R20, 人体影響研究 9: 47, 173, 1986.

3) 佐々学, 熊谷朗, 小西健一, 荻田善一, 五十嵐隆夫: ユスリカ類の環境における動態, とくにアレルギー疾患との関連. 「環境科学」研究広報 35: 50, 1986.

4) Sasa, M., Kumagai, A., Konishi, K., Ogita, Z. and Igarashi, T.: Behavior of chironomid midges in the human environment, with special references to the relation with allergic diseases. Special Research project on Environmental Science. 36:32, 1986.

ウ イ ル ス 学

教授 庭山清八郎
助教授 落合宏
助手 林京子
助手 黒川昌彦
文部技官 吉田与志博

◆ 原 著

1) Ochiai H., Shibata M., Kamimura K. and Niwayama S.: Evaluation of the efficacy of split-product trivalent A(H1N1), A(H3N2), and B influenza vaccines: Reactogenicity, immunogenicity and persistence of antibodies following two doses of vaccines. Microbiol. Immunol. 30: 1141—1149, 1986.

2) Ochiai H., Shibata M., Kamimura K. and Niwayama S.: Evaluation of the efficacy of split-product trivalent A(H1N1), A(H3N2), and B influenza vaccines: Protective efficacy. Microbiol. Immunol. 30: 1151—1165, 1986.

3) Ochiai H., Niwayama S. and Masuyama K.: Inhibition of experimental metastasis in mice by β -cyclodextrin-benzaldehyde. J. Cancer Res. Clin. Oncol. 112: 216-220, 1986.

4) 芝田充男, 庭山清八郎, 落合宏, 岩瀬勇雄, 山内豊蔵, 元田昭策, 佐藤征也: 1978年から1985年までの新潟県におけるインフルエンザについて—分離ウイルスを中心とした抗原分析—. 新潟医学会雑誌100: 344—356, 1986.

5) 名古屋良輔, 窪田靖夫, 林京子, 落合宏, 庭山清八郎: ハイブリダイゼーションによる HSV-1DNA の同定. あたらしい眼科 3: 1635—1637, 1986.

◆ 総 説

1) 庭山清八郎: ウイルス感染と細胞レセプター. 総合臨床35: 2501—2508, 1986.

◆ 学会報告

1) 増山喜一, 斉藤光和, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 落合宏, 庭山清八郎: Benzaldehyde- β -cyclodextrin(KBC) の抗腫瘍活性…実験的肺転移の抑制効果について. 第203回北陸外科学会, 1986, 2, 金沢.

2) 落合宏, 林京子, 庭山清八郎: インフルエンザウイルス HA の細胞増殖阻害作用について. インフルエンザ研究者交流の会, 第1回シンポジウム, 1986, 3, 熱海.

3) 増山喜一, 田沢賢次, 鈴木康将, 山下巖, 沢田石勝, 笠木徳三, 永瀬敏明, 伊藤博, 落合宏, 菅野延彦, 藤巻雅夫: 椎茸菌糸体培養物より得られた温水抽出物, LEM の抗腫瘍作用について (第3報). 第7回癌免疫外科研究会, 1986, 5, 東京.

4) Kurokawa M. and MacLeod M.C.: Covalent binding of benzo(a)pyrene-diol-epoxide to histone H2A in rat liver nuclei: Target specificity. American Society of Biological